



2021年3月期 第1四半期
決算補足資料

証券コード:6908

2020年8月4日

イリソ電子工業株式会社



I . 2021.3期 第1四半期連結決算概要

II . 2021.3期 連結決算見通し

新型コロナウイルスによる生産・販売停滞により売上・利益ともに前年同期比減少

■**売上**：新型コロナウイルス感染拡大による、世界的な生産活動停止の影響を受け、車載市場を中心に前年同期比で大きく減少。

→**新型コロナウイルスによる影響(対前年同期比)**：約40億円
(地域別内訳)中国・アジア：約14億円、欧州：約11億円、
アメリカ：約10億円、日本：約5億円

■**営業利益**：売上減少に伴う操業度低下と金価格の高騰などの影響により減少するも、原価低減活動と徹底した支出削減により改善

【トピックス】

「耐振ソリューション」の充実

→三次元可動BtoBコネクタZ-Move[®]の多様なラインナップの強化と、振動シミュレーションサービスでお客様の機器の耐振性を評価し、問題点の早期把握と対策をご提案。イリソの独自の「耐振ソリューション」としてお客様のお困りごとを解決。これによりZ-Move[®]を含む電動車のパワートレイン系向けは前年同期比約25%増加。バッテリー関連や外部給電用インバーター向けが好調。主要地域で自動車の生産・販売が大幅に減少する中でも健闘。



- ・インダストリアル市場が新型コロナ禍で日系企業が生産を増加したことから前年同期比増加。

2. 2021年3月期第1四半期連結業績(前期比)



単位:百万円

	20.3期 第1四半期	21.3期 第1四半期	前年同期比
売上高	10,040	5,836	△4,203 58.1%
営業利益	1,398 (13.9%)	△395 (-%)	△1,793 -%
経常利益	1,347 (13.4%)	△410 (-%)	△1,757 -%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	909 (9.1%)	△432 (-%)	△1,341 -%
EPS	38.60円	△18.37円	
為替レート 期中平均	ドル 109.98円 ユーロ 123.28円 元 16.12円	107.74円 118.94円 15.16円	△2.24円 △4.34円 △0.96円

3. 売上高詳細(市場別)

単位:百万円

		21.3期 第1四半期	前年同期比	構成	増減要因
オートモーティブ(車載)		4,433	51.7%	76.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスによる欧米アジアでの生産活動停止、販売不振の影響を受け、大幅減少 ・増加してきたセーフティ分野は欧米の生産活動停止の影響で減少 ・悪い環境下でもパワートレイン分野は環境対応車の普及に伴い増加
区分	インフォテインメント	2,455	48.3%	42.1%	
	セーフティ	904	50.7%	15.5%	
	パワートレイン	450	126.6%	7.7%	
	その他	623	46.2%	10.7%	
コンシューマー (OA、ゲーム機、デジカメ、携帯電話、TVなど)		831	85.7%	14.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・OA機器、ゲーム機向けを中心に減少 ・テレビ向けは新製品で増加
インダストリアル (産業機器など)		571	115.5%	9.8%	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ禍で日系企業が生産を増加したことから増加
合計		5,836	58.1%	100.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・海外比率72.0%



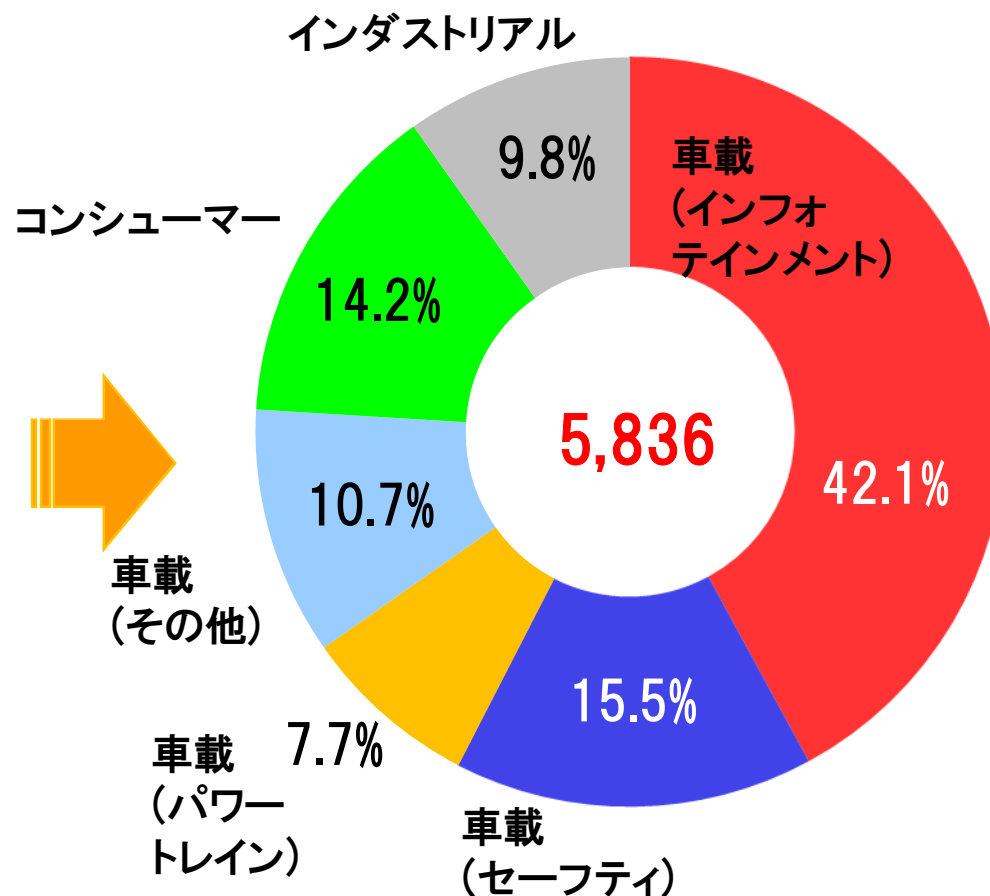
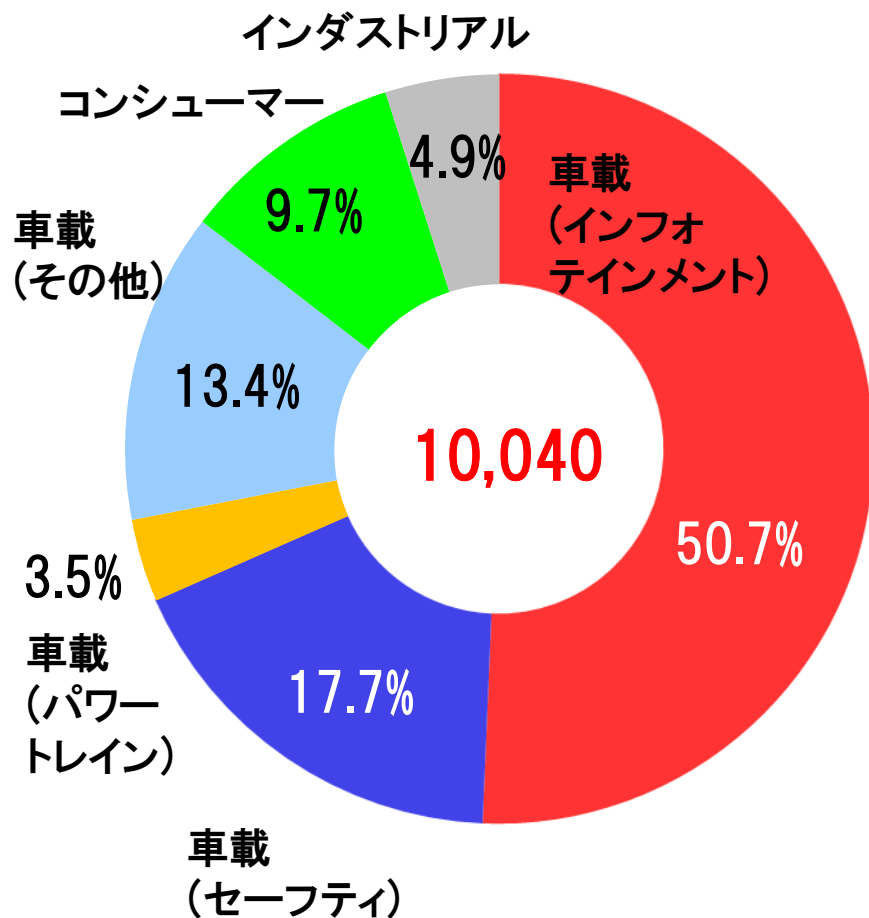
4. 市場別売上高構成比推移(前年同期比)



単位:百万円

20.3期第1四半期

21.3期第1四半期

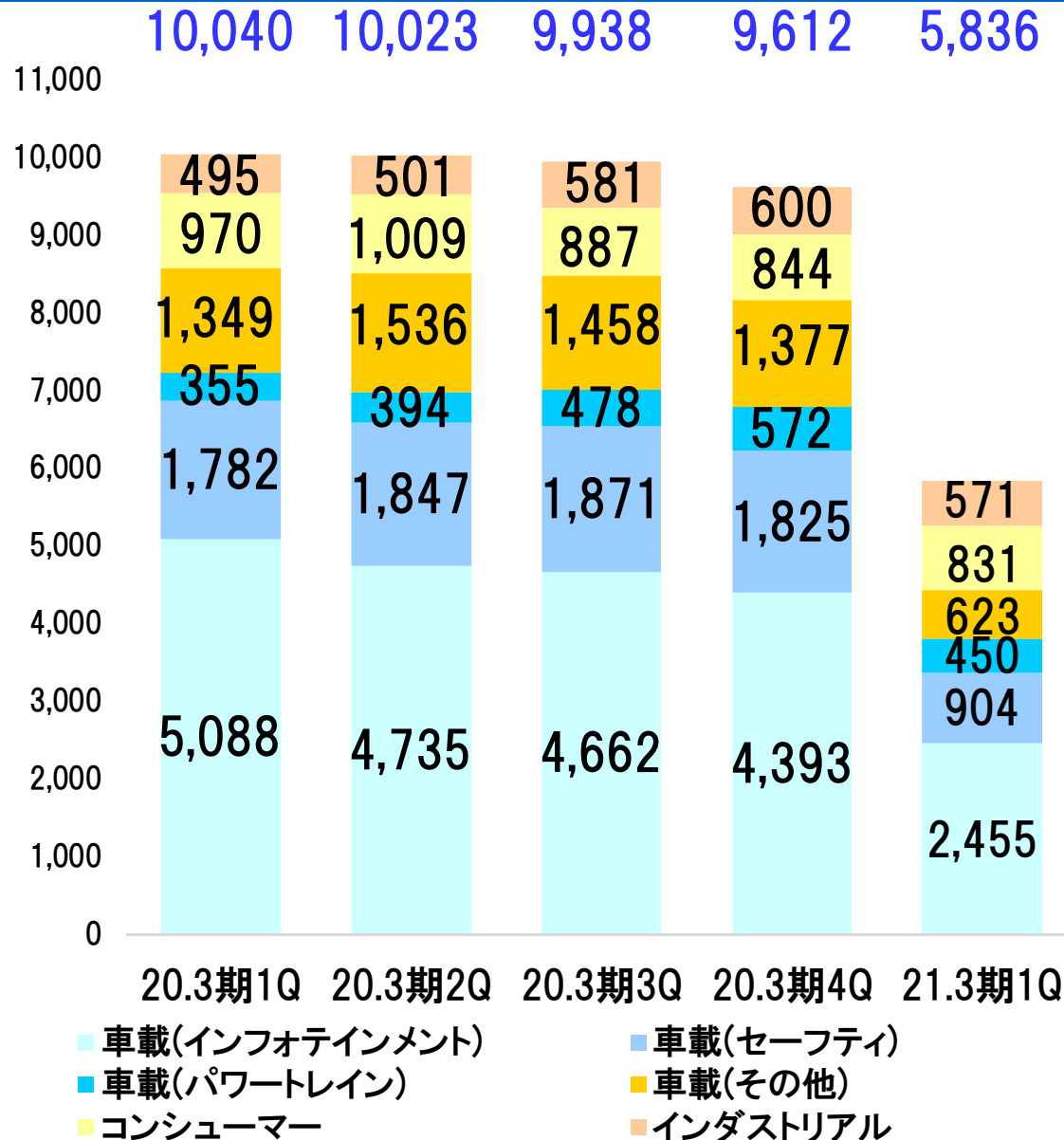




5. 市場別売上高(四半期推移)



単位:百万円



◆ 対20.3期1Q

インダストリアル 115.5%

コンシューマー 85.7%

車載 (Others) 46.2%

車載 (Powertrain) 126.6%

車載 (Safety) 50.7%

車載 (Infotainment) 48.3%

車載 (全体) 51.7%

・新型コロナ禍で日系企業が生産を増加したことから増加

・OA機器やゲーム機向けを中心に減少するも、新規テレビ向けは増加

・新型コロナウイルスによる欧米アジアを中心とした新車生産及び販売の不振の影響で、大幅減少

・パワートレイン分野は環境対応車の普及に伴い、バッテリー関連や外部給電用のインバーター向けで増加

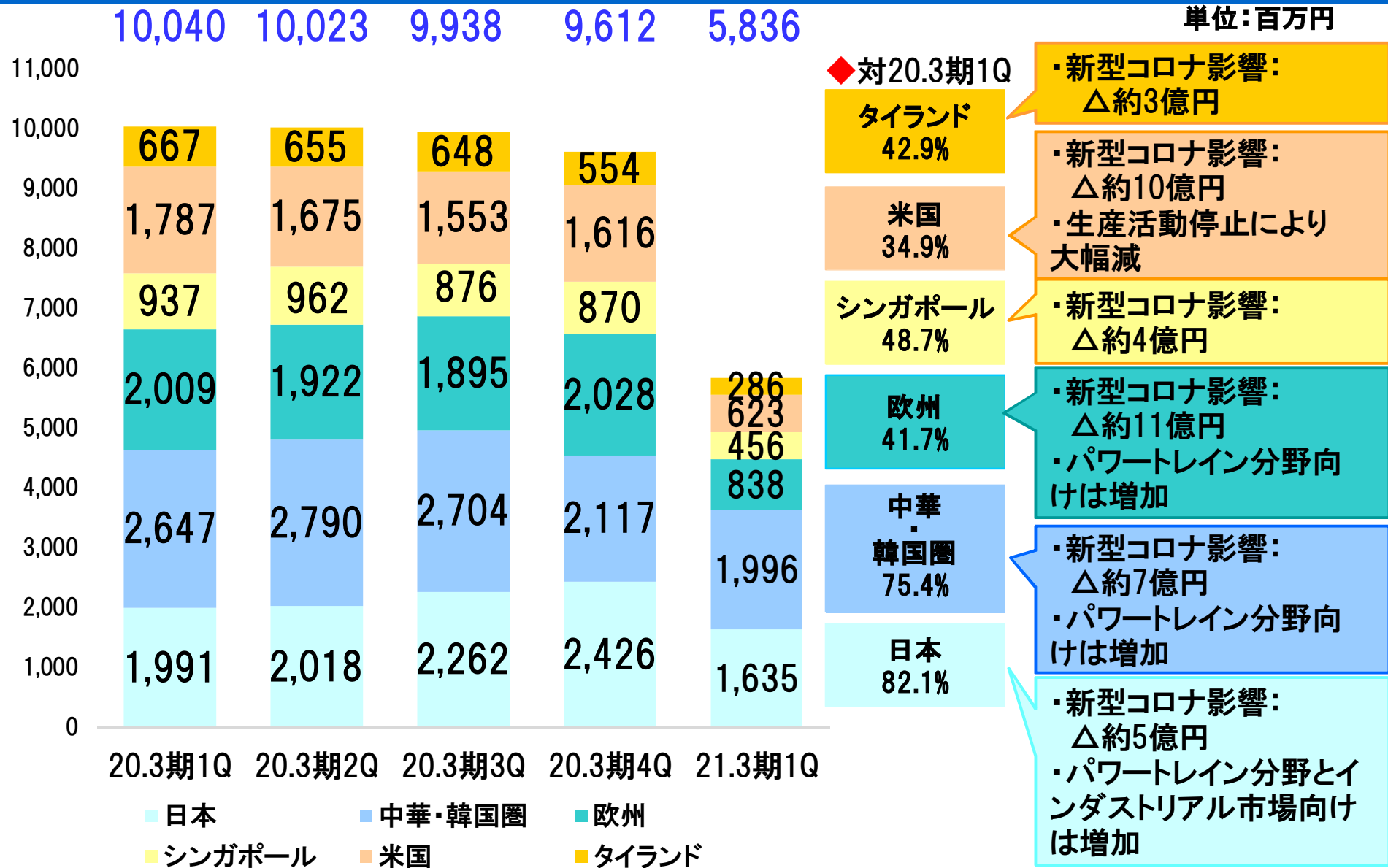
・月次では5月を底にして回復傾向(後述)



6. 地域別売上高(四半期推移)



単位:百万円

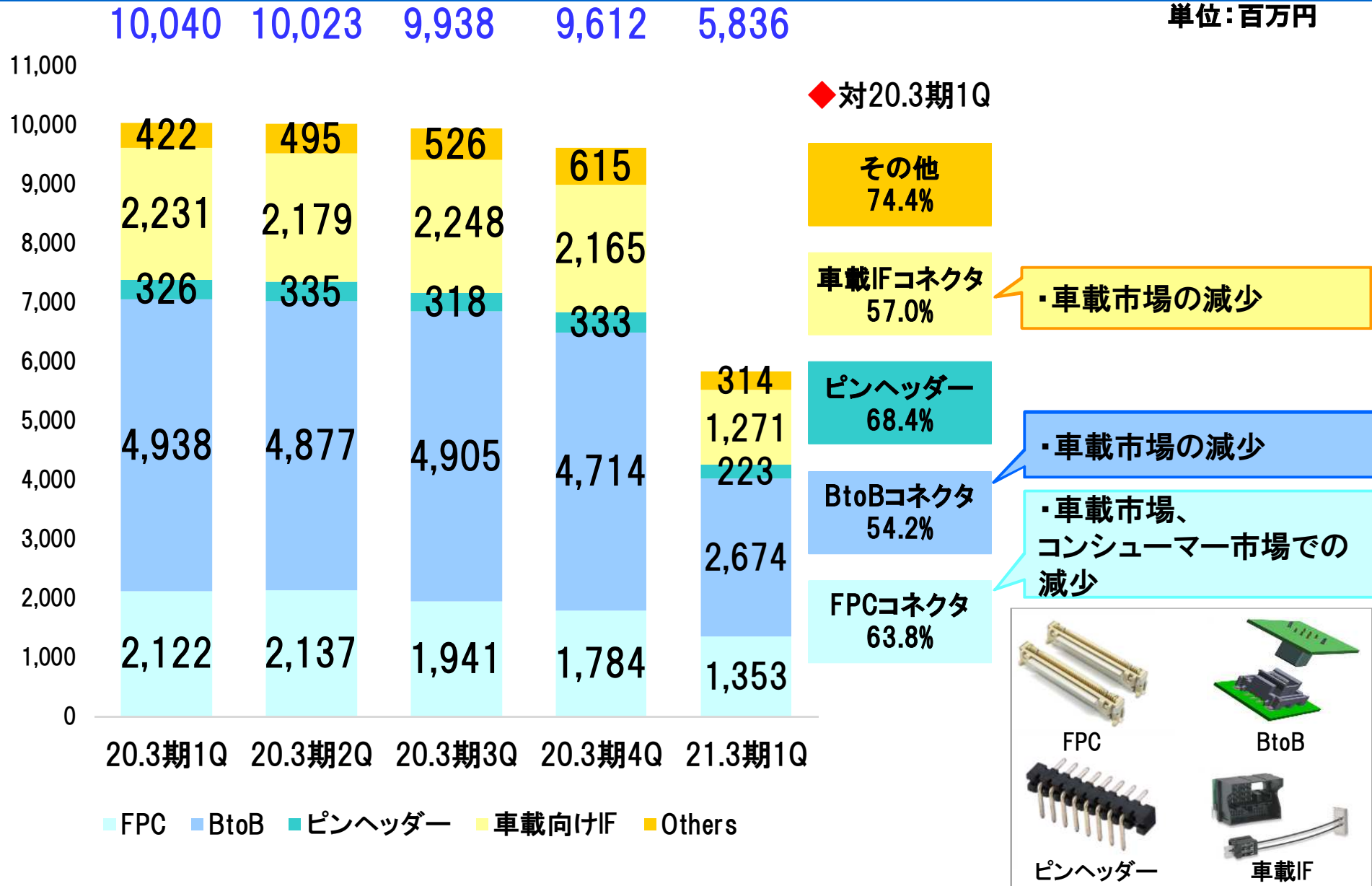




7. 製品別売上高(四半期推移)



単位:百万円





8. 市場・地域別売上動向(月次推移)

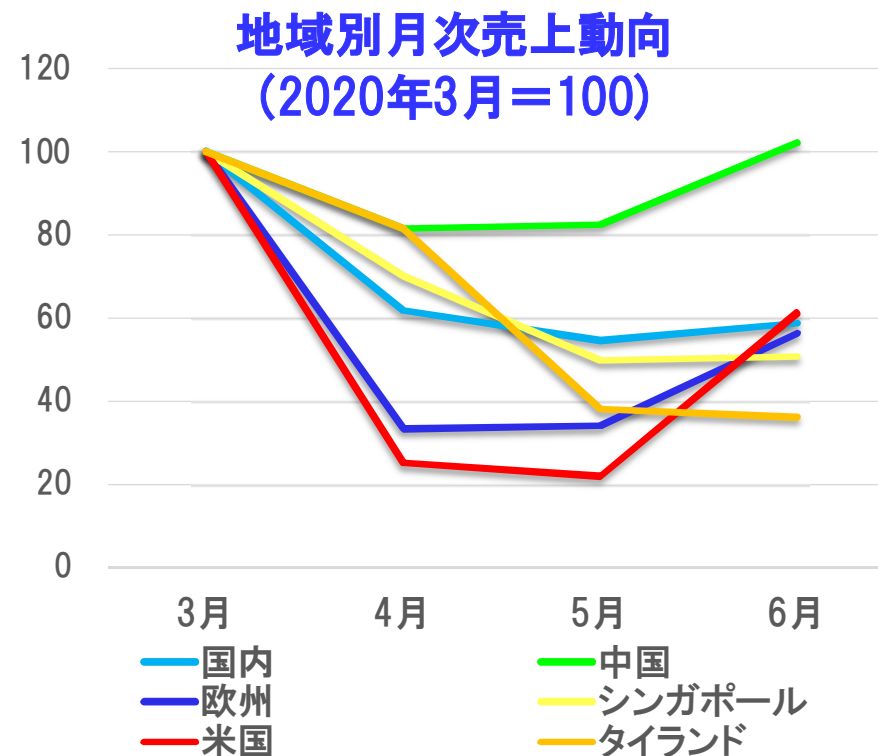
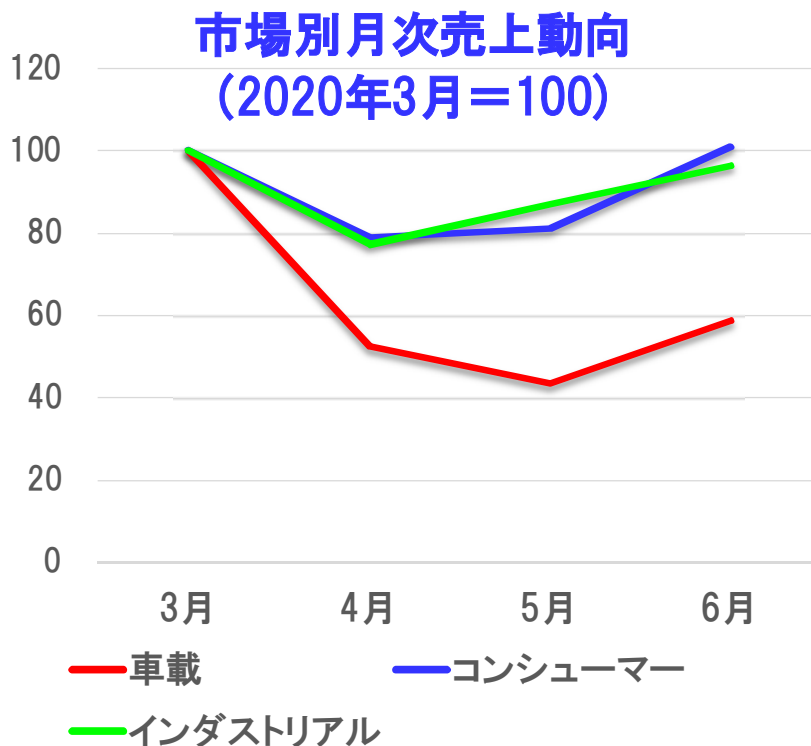


■市場別

車載は5月、コンシューマーとインダストリアルは4月を底に回復傾向

■地域別

- ・落ち込みが激しい欧米地域は生産活動再開に伴い、6月から急回復
- ・中国は回復。1Qでも前期4Q比増加



9. 損益計算書(連結)(前年同期比)



単位：百万円

	20.3期 第1四半期		21.3期 第1四半期		前年同期比	
売上高	10,040	100.0%	5,836	100.0%	△4,203	58.1%
売上原価	6,533	65.1%	4,239	72.6%	△2,293	64.9%
売上総利益	3,506	34.9%	1,596	27.3%	△1,910	45.5%
販売管理費	2,108	21.0%	1,992	34.1%	△116	94.5%
営業利益	1,398	13.9%	△395	△6.8%	△1,793	- %
営業外収益	35	0.3%	34	0.6%	△1	95.9%
営業外費用	86	0.9%	49	0.9%	△36	57.5%
経常利益	1,347	13.4%	△410	△7.0%	△1,758	- %
特別損益	△22	△0.2%	△38	△0.7%	△16	173.6%
税前利益	1,325	13.2%	△449	△7.7%	△1,774	- %
親会社株主に帰属する 四半期純利益	909	9.1%	△432	△7.4%	△1,342	- %
E P S	38.60円		△18.37円		-	
為替レート (ドル/ユーロ)	109.98円/ 123.28円		107.74円/ 118.94円		△2.24円/ △4.34円	

10. 貸借対照表(連結)(前期末比)



単位:百万円

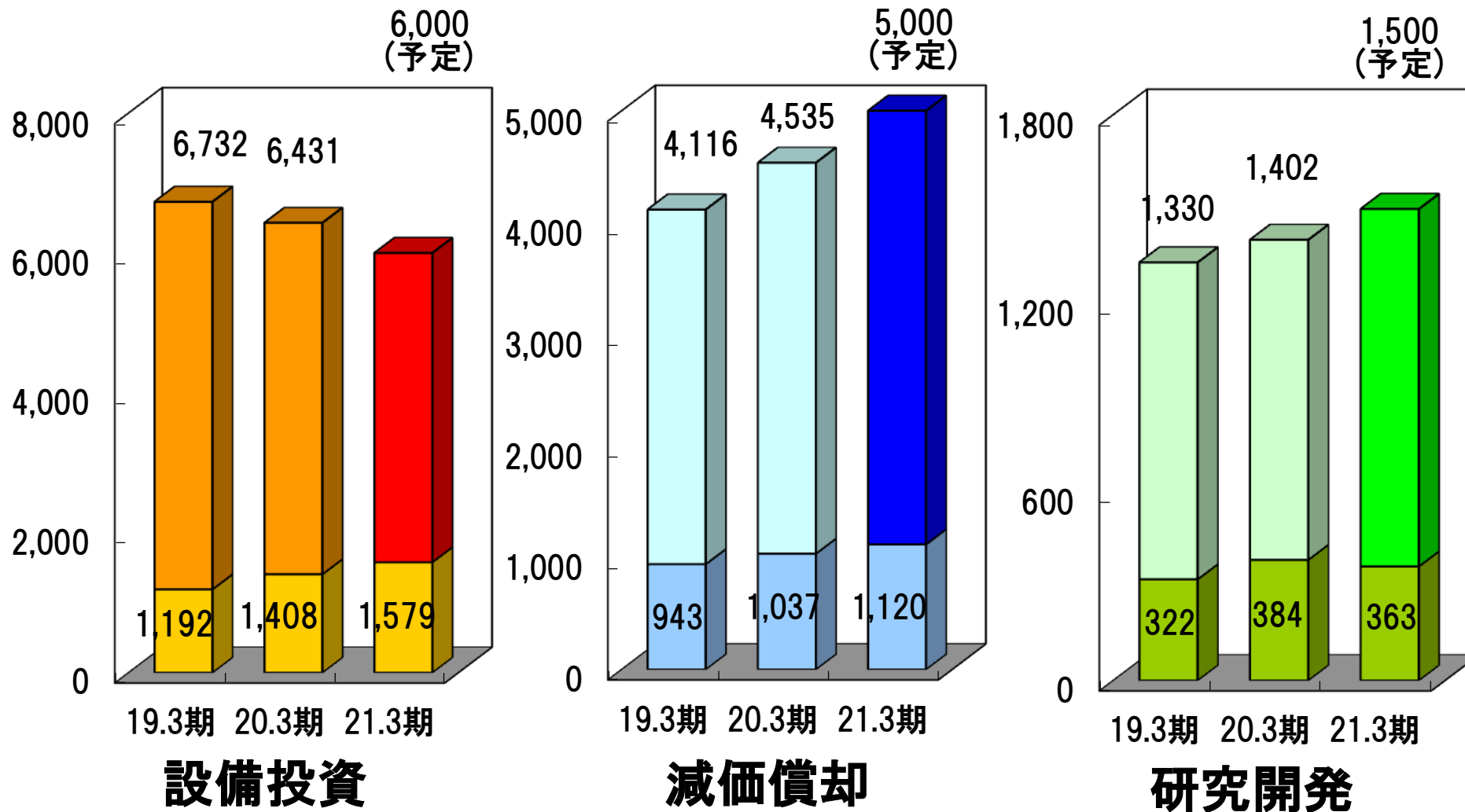
	20.3期		21.3期 第1四半期		前期末比	要因
流動資産	32,395	53.4%	29,258	51.0%	△3,136	商品及び製品541 現金及び預金△916 受取手形及び売掛金△2,530
固定資産	28,242	46.6%	28,119	49.0%	△123	
資産合計	60,638	100.0%	57,377	100.0%	△3,260	
流動負債	7,928	13.1%	6,481	11.3%	△1,446	支払手形及び買掛金△820 未払金△495
固定負債	1,190	1.7%	1,166	2.0%	△24	
負債合計	9,118	15.0%	7,647	13.3%	△1,470	
株主資本	51,217	84.5%	49,601	86.5%	△1,616	利益剰余金△1,615 (四半期損失△432、 配当△1,183)
その他の 包括利益累計額	△15	- %	△204	- %	△188	
非支配株主持分	317	0.5%	332	0.6%	15	
純資産合計	51,519	85.0%	49,729	86.7%	△1,789	1株純資産 2096.06 円 (前期末 2,172.66円)
負債・純資産 合計	60,638	100.0%	57,377	100.0%	△3,260	



11. 設備投資・減価償却・研究開発



単位：百万円



注：各グラフの数値は、下段に第1四半期累計の実績、上位に通期での実績(21.3期は予定)を記載



12. トピックス：耐震ソリューションの強化



■ 耐振ソリューション：Z-Move® + 振動シミュレーション

- ・独自開発した振動シミュレーションとZ-Move®の採用によりお客様の機器の耐振性評価。
- ・開発段階で耐振動性での問題点の早期把握と対策を実施
- ・実振動試験での問題点の極小化と開発期間、コスト削減に大きく貢献

→イリソ独自の「耐振ソリューションサービス」

■ Z-Move®ラインナップ強化

電動車に必要な駆動用パワートレインアプリケーションなどの厳しい振動環境での使用を想定し開発された三次元可動BtoBコネクタ“Z-Move®”に新しく3シリーズを追加し、ラインナップが計5シリーズとなりました。

【追加シリーズ】

- ・18021シリーズ：車載インバーターIGBT向けボトム嵌合タイプ
- ・10127シリーズ：低背・小型タイプ(基板嵌合高さ8mm)
- ・10128シリーズ：狭ピッチタイプ(0.8mmピッチ)

→多様なバリエーションで、厳しい振動環境下での接続の信頼性向上や機器の小型化に貢献



(18021シリーズ)



(10127シリーズ)



(10128シリーズ)



I . 2021.3期 第1四半期連結決算概要

 II . 2021.3期 連結決算見通し



1. 2021年3月期 計画(前期比)



単位:百万円

	20.3期 実績	(上期) (下期)	21.3期 計画	(上期) (下期)	通期 前期比
売上高	39,614	(20,064) (19,550)	34,000	(14,000) (20,000)	△5,614 85.8%
営業利益	4,628 (11.7%)	(2,381) (2,246)	1,400 (4.1%)	(△500) (1,900)	△3,228 30.2%
経常利益	4,668 (11.8%)	(2,359) (2,308)	1,400 (4.1%)	(△530) (1,930)	△3,268 30.0%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,287 (8.3%)	(1,670) (1,617)	1,100 (3.2%)	(△560) (1,660)	△2,187 33.5%
EPS	139.49円	—	46.68円		
為替	ドル109.10円 ユーロ121.13円 元 15.66円	—	ドル108.00円 ユーロ120.00円 元 15.80円		

2. 2021年3月期 売上計画の背景(期初から変更無)

■ 車載市場

- ・欧米、アジア及び日本国内での自動車生産停止の影響で、当社製品の売上も減少
- ・第1四半期を底として、徐々に回復が進むが、消費の低迷により回復は緩やかと想定し、グローバルでの自動車販売台数は2020年は7,200万台と**約20%落ち込む前提で計画**

■ 非車載市場

- ・インダストリアル市場は新型コロナウイルスの影響で市場規模が縮小するが、コンシューマー市場でのゲーム機及びテレビ向けで自動組立対応コネクタの搭載があり、売上が増加する計画



下期は前期並みまで回復すると見ており、
翌期はさらに拡大すると想定しています。

■ 当社拠点への影響と対応

- ・売上減少に応じて、世界の各生産拠点で**帰休措置を実施**
- ・同時に、**基礎体力をつけるための期間**として、以下の施策に取り組み、コロナ後の収益性改善を目指す
【工場改善活動】

①生産性改善

・・・サイクルタイム10%短縮、
チョコ停半減、段取り時間半減

②リードタイムの短縮・・・30%短縮目標

③設備のメンテナンス促進(インフラ含む)

④工程品質向上

⑤安全総点検(災害ポテンシャルの抽出と対策)

⑥人財育成

■ 当社財務基盤への影響と対応

- ・機動的な財務基盤運用を可能とするため、
銀行融資枠(コミットメントライン)を拡大

会 社 名	：	イリソ電子工業株式会社
事 業 内 容	：	各種コネクタの製造・販売
設 立 年 月	：	1966年12月
社 員 数	：	3,370名(2020年3月31日現在)
資 本 金	：	5,640百万円(2020年3月31日現在)
本 社	：	神奈川県横浜市港北区新横浜2-13-8
営 業 拠 点	：	
国 内		本社、福島県、茨城県、愛知県、大阪府
海 外		シンガポール、香港、アメリカ、ドイツ、タイ、韓国 中国（上海、大連、天津、蘇州、深圳、重慶）、マレーシア、 台湾、インド
研 究 開 発	：	本社(イリソテクノロジーパーク)、 川崎(生産技術センター)、上海R&Dセンター
工 場	：	茨城県、中国(上海、南通)、フィリピン(マニラ)、 ベトナム(ハイズオン)

コネクタの種類

基板対基板コネクタ (BtoBコネクタ)

プリント基板の接続用に開発されたコネクタの総称でボード・ツー・ボードコネクタ(ボードtoボードコネクタ)とも呼ばれる。垂直接続、平行(スタッキング)接続、水平接続など組み合わせで、さまざまな接続が可能となる。B to B (ビー・ツー・ビー)は、当社の登録商標として市場で広く浸透している。

FPC/FFCコネクタ

FPC基板(Flexible printed circuits)やFFCケーブル(Flexible flat cable)の接続用に開発されたコネクタの総称。コネクタの挿入時に力を加えずにロック可能なZIF(Zero insertion Force)タイプ、挿入したときに力が発生するNON-ZIFタイプがある。

I/Fコネクタ

I/Fとは、インターフェイスの略で、機器間の信号の接続を行うコネクタのことで、I/O(インプット/アウトプット)コネクタとも呼ばれる。カーナビ、PCなどさまざまな機器の側面(裏・表面)に装着され、機器への電源供給、音声・映像信号データなどの入出力を行う。

ピンヘッダー

線材をカット加工した“ピン(電導体)”をハウジング(樹脂材でできた絶縁体)で支えたプラグ(オス側)コネクタの基本形であり、さまざまな分野・機器の内部接続(基板間接続)に使用されている。横から見ると、生け花の花止め“けんざん”のように見えるのが特長。メス側はソケットと呼ばれる。

この資料に記載されております業績の予想数値につきましては、本資料の発表日現在で得られた入手可能な資料に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみに依拠してご判断されることはお控え下さるようお願いいたします。

なお、本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。